

2024年6月例会報告

潮来あやめと水郷地帯を歩く

開催日	2024年6月12日（水）
集合場所	JR 鹿島線 潮来駅
集合時間	8時15分～8時30分 8時40分スタート
コース	潮来駅～あやめ園～津軽河岸跡～仙台河岸跡～道の駅潮来 ～潮来高速バスターミナル～常陸利根川（昼食）～加藤洲十二橋 ～潮来駅
ゴール時間	17km 13時
距離	17km 団体歩行
参加者	8名
天候	晴れ

ウォーキング状況

潮来あやめの鑑賞ウォークも今回で3回目です。

今回はあやめ園を流れる前川沿いの遊歩道とSTTウォークNo.7を歩き
ゴール手前で加藤洲十二橋を巡るコースを選定しました。

直前の日曜日に他の会で潮来近郊であやめウォークがありましたので
参加者の心配をしていましたが、8名の方の参加を頂き有難うございました。
先ずはあやめ園へ、中央部は昨年より花付きが少し悪いようですが、満開を
迎えていて綺麗に咲き誇っていました。



太鼓橋付近のあやめ

あやめ園から前川沿いの遊歩道を通り、大王橋を渡り磯山亭・津軽河岸を見学。

今回、花嫁舟は時間の都合で見ることができませんでしたが、花嫁さんは、仲人と一緒にこの津軽河岸跡広場の船着き場から舟に乗り、花婿の待つ水郷潮来あやめ園へ出発します。あやめ園では、多くの観光客の皆さまに祝福されながら、あやめが咲き誇るなかを歩いていきます。そして、花嫁さんと花婿さんは人力車に乗り、水郷旧家磯山邸へと戻ってきます。



磯山亭

津軽河岸跡からさらに歩み続け、仙台藩河岸跡を過ぎ、愛友酒造（今回は見学なし）の手前から橋を渡り前川の遊歩道に戻り、前川運動公園を經由して「道の駅潮来」をめざしました。



前川運動公園のサッカーコート

道の駅でトイレ休憩・散策後、高速バス潮来ターミナルを經由し、東関東自動車道沿いに北利根川へ向かい、高速道路下に併設されている歩道にて北利根川を渡り、高架下の堤防にて昼食を行いました。

昼食後、北利根川の右岸堤防を潮来駅方向に進みます。

このルートはSTT ウォーク No.7です。

鹿島線の高架下を過ぎると水門があり、ここで「舟めぐり」が出来ます。

この水路（**新左衛門川**）は北利根川と与田浦を結んでいて、兩岸の家を
行き来するために、十二の橋が架かっています。加藤洲十二橋と呼ば
れています。ちなみに、橋の名前は

思案橋、憩いの橋、偲ぶ橋、金宝樹の橋、藤見の橋、見返りの橋

水仙橋、子育ての橋、思い出橋、十六夜橋、行々子橋

で、意気な名前がついていますね。（調べた結果11しか判らず）

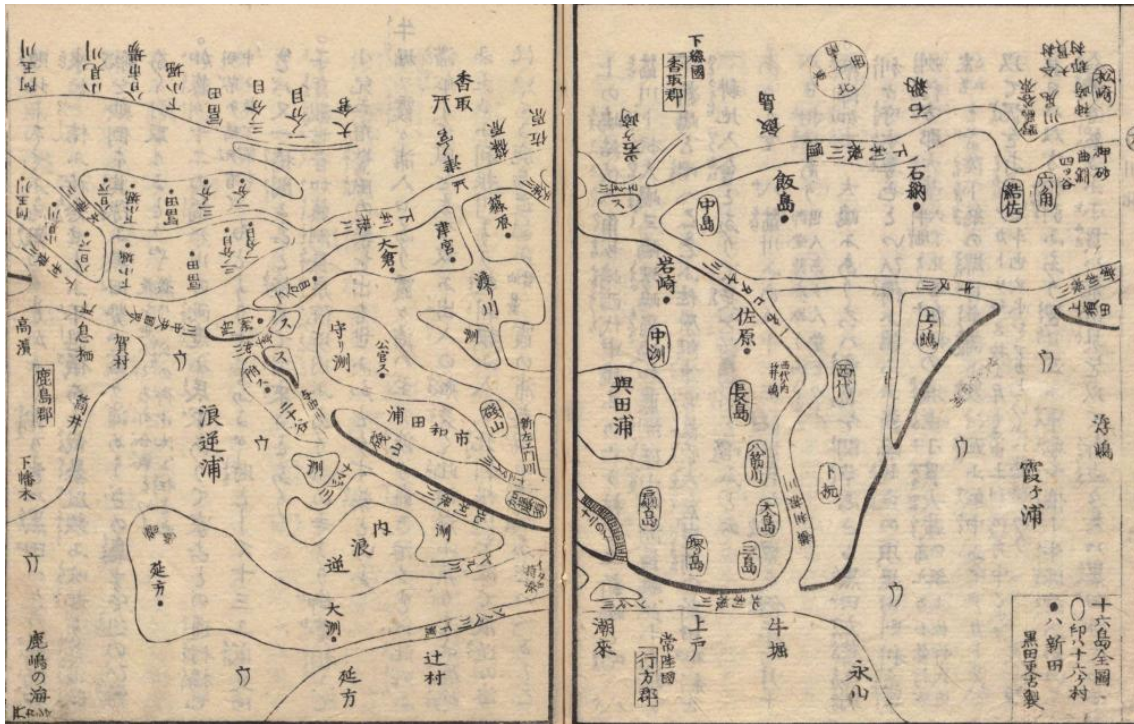


今回は、舟でなく道路側から見たので、殆どの橋が民家の敷地の中なので
アクセスできず一部しか見る事が出来ませでした。

再び、北利根川の堤防に戻り、潮来大橋を渡り、駅へ戻りました。



最後に、江戸時代の潮来周辺の絵図を紹介しておきます。



1850年頃の物です。今と比べて浪逆浦、与田浦、霞ヶ浦も大きく、潮来の地は利根川と霞ヶ浦が合流する地点なので、川の流れ遅くなり、川から運ばれた土砂が堆積し中州が出来やすく、それを利用して新田開発が進められていたようです。

新田開発は昭和の時代迄続けられ現在に至っています。

以上
松崎 記